

米国主催多国間共同訓練ヴァリアントシールド2026への参加について

【訓練参加の目的】

自衛隊の戦術技量の向上を図るとともに、同盟国及び同志国との連携強化により、インド太平洋地域における抑止力・対処力を強化するもの。

【訓練の沿革】

「ヴァリアントシールド」は、2006年から隔年で米国が実施している統合訓練（実動訓練）です。米国からの招待を受け、前回2024年に続き自衛隊及び諸外国が本訓練に参加します。

【訓練の実施場所】

本訓練はグアム、ハワイを含むインド太平洋地域の広範なエリアで実施されます。

日本周辺においては、日本周辺海空域及び日本国内の自衛隊施設、在日米軍施設等において、各種の訓練を実施します。

米国以外の参加国の航空機・艦艇による日本への来訪は予定されていません。

【訓練の実施期間】

令和8年6月22日（月）～7月1日（水）の間（前後1週間程度の準備及び撤収期間）で予定しています。夜間及び土日を含む計画も一部ございますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

主な訓練実施場所（日本国内）

※写真はイメージです

⑤ 共同衛生訓練 (松島、横田、入間、横須賀、岩国等)



③ 共同空挺降下訓練 (北海道大演習場)



※その他、千歳、入間、南恵庭、習志野を後方支援施設として使用

① 共同対航空戦闘訓練 (千歳、奥尻島、車力)



※その他、入間基地を防空指令所として使用

④ 共同滑走路復旧等訓練 (芦屋、築城)



② 共同統合対艦戦闘訓練 (奄美駐屯地、奄美大島分屯基地、 奄美大島(生地)、鹿屋)



※本訓練は、日本国内の他、グアム、ハワイを含むインド太平洋地域の広範なエリアで実施されます。

米国主催多国間共同訓練ヴァリアントシールド2026における 訓練実施場所について

本訓練においては、主に以下の施設等において訓練を行う予定です。

① 共同対航空戦闘訓練

千歳基地、奥尻島分屯基地、車力通信所、入間基地(防空指令所)、
春日基地飛行場地区及び米軍板付飛行場(日米空中給油機展開)

※後方支援施設:車力分屯基地(宿泊等)

② 共同統合対艦戦闘訓練(一部の地域においてレゾリュート・ドラゴン26の訓練項目を含む)

奄美駐屯地、奄美大島分屯基地、奄美大島(奄美市及び龍郷町)の生地、鹿屋航空基地

③ 共同空挺降下訓練

北海道大演習場

※後方支援施設:千歳基地(着陸予備・帰投時)、入間基地(搭乗)、南恵庭・習志野駐屯地(宿泊等)

④ 共同滑走路復旧等訓練

芦屋基地、築城基地

⑤ 共同衛生訓練

岩国沖(洋上) ～ 岩国航空基地 ～ 自衛隊入間病院 ～ 横須賀米海軍病院

松島基地 ～ 横田米空軍病院、自衛隊中央病院、自衛隊仙台病院、石巻赤十字病院

④ 共同滑走路復旧等訓練

○ 滑走路等の損傷を想定し、芦屋基地及び築城基地において、陸海空自衛隊が米空軍、米海軍とともに滑走路の応急復旧等を演練します。

【期 間】

令和8年6月22日(月)～25日(木)(予備日:26日(金))

【参加部隊】

陸上自衛隊 中方及び西方の施設部隊 約100名

海上自衛隊 航空集団の施設部隊 約30名

航空自衛隊 航空総隊の施設部隊 約100名

米 軍 空軍及び海軍の施設部隊 約100名、空軍輸送機(C-17)×1機※

※人員及び機材の輸送のため、自衛隊基地に米軍の輸送機が飛来します

訓練予定場所

芦屋基地

築城基地

訓練イメージ

